

## ■ 次代の親の子育て体験学習

---

【目的】「親になるまで小さい子どもに触れたことがない」という保護者の現状から、育ちの中で親になるための準備がほとんどできず「親が子どもを知らない」という実態があること、さらに児童虐待の要因の一つに、行為者が幼少期から青年期にかけて、乳幼児とふれあう体験を経していないことが指摘されている。これらの課題を改善するため中学生が乳幼児とふれあう機会や次代の親として必要な知識を習得する機会を提供する。

【内容】「赤ちゃん先生」を講師として、中学校の授業の一環で、子育て中の親子との交流の場や乳幼児とふれあう体験の場を提供するとともに、少子化・ライフデザイン・妊孕性などに関する正しい知識や情報を提供することにより、妊娠・出産・子育てに対して身近に意識するきっかけづくりを図る。(実施期間:平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月)

【期待する事業効果】親になることの模擬体験をすることで、結婚、子育てに対する思いを実感でき、将来、子どもをもち、育てることに肯定的なイメージを持つようになる。

## ■ 「子育てサロン」の充実

---

【目的】結婚・妊娠・出産・子育てのそれぞれのステージで丁寧に当事者に寄り添い、場面ごとの細々とした相談に応じたり、必要な支援につなげたりすることで、子育て世代を地域ぐるみで支える。

【内容】地域で子育て中の親子が気軽に集まることに加え、地域の方々との交流の場を通じ、子どもの成長について学んだり、子育てについての交流や相談活動を行う。また、妊婦の参加者には、赤ちゃんとふれあう機会や経産婦の体験談を聴く機会を作り、出産や育児について学ぶことで不安の解消にも役立つ。さらに、地域の次代の親となる若者も参画できる仕組づくりやおせっかいおじさん・おばさんが結婚に踏みきれない地域の若者たちの背中を押せるような仕組づくりを研究するとともに、相談支援等の従事者のスキルアップのための研修会を実施する。(実施期間:平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月)

【期待する事業効果】子育て世代の孤立感を解消し、地域でのつながりを感じるとともに、地域で支えられていることを実感できる。

## ■ 『ふたりの出会い』『子育ていいところらべ』の公募・選定

---

【目的】 一口に結婚といっても、出会いから結婚にいたるまでには十人十色の経緯やエピソードがあることを実話をもとに知ること、結婚に対する固定観念を見直したり、不安を解消するきっかけとする。同様に、子どもをもつことの喜び、子育ての楽しさなどを知ること、子どもを産み育てたいという機運を醸成する。

【内容】 既婚者の市民を対象に二人の出会いから結婚に至るまでのエピソードを公募し、啓発材料に相応しい作品を選定し、啓発冊子としてまとめる。同様に、子育て中あるいは子育て経験者の市民(年代別、多子世帯、3世代同居世帯等)から子どもを持つことの喜びや子育ての楽しさを示す実体験を公募し、啓発冊子としてまとめる。冊子の中で市HP「子育てひろば掲示板」をPRする。

冊子は市のホームページに掲載するだけでなく、広報、子育て雑誌等で周知し、市内公立中学校・市内の高校・大学に配付するほか、婚姻届受付時や、若者の参画する事業実施時に配布する。その他、成人式・図書館等でも配布する。

この冊子をきっかけとして、「子育てひろば掲示板」や若者の参画する事業で、若者と子育て世代との交流を図り、若者に結婚、子育てを身近に感じ、前向きに考えてもらえるように活用する。1,000部作成予定。(実施期間:平成27年11月~平成28年3月)

【期待する事業効果】 結婚や子どもをもつことに対する漠然とした不安や懸念が、他の人の実体験を知ることによって緩和され、前向きな気持ちになれる。